

# 「子どもへのまなざし運動」

～子どもへのまなざし“100%”のまちを目指して～

## 地域の役割



### 子どもに地域の一員としての自覚を促す



#### 子どもの安全を見守る

★「地域の子どもは地域で守り育てる」がキーワード。  
私たち大人のちょっとした気配りがスタートです。

例えば…

- 身近なところで、子どもの事故や、子どもが巻き込まれる事件が起きていることを認識する。
- 「学校情報携帯メール配信システム」に登録する。
- 登下校時刻に合わせて玄関先の掃除等を行う。
- 買い物や散歩等の外出時間を、登下校時刻に合わせる。
- 外出の際に、子どもにとって危険な場所がないかを配る。
- 子どもにとって危険な場所を発見した場合は、関係機関（市役所等）に連絡する。
- 子どもが危険な遊びをしていないかを配る。
- 子ども110番の家、や“子ども見守り隊”等の活動に参加する。
- 不審者や不審車両を見つけたら、関係機関（警察等）に通報する。

#### 子どもと顔見知りになりふれあいを深める

★まずは私たち大人同士が顔見知りになりましょう。

例えば…

- 日頃の近所づきあいを大切にする。
- 子どもと大人がふれあうきっかけとなるような地域の行事が企画・実施されていることを認識する。
- 学校フリー参観デーに出かける。
- 地域の行事等に積極的に参加・協力して、地域の大人や子どもと顔見知りになる。
- 学校ボランティア（本の読み聞かせ、ゲストティーチャー、学習補助等）に登録・参加する。
- 顔見知りになった大人や子どもとあいさつを交わすなど、コミュニケーションをとる。

#### 『市民性をはぐくむ教育』を実践する

★まずは私たち大人が地域の活動に積極的に参加しましょう。

例えば…

##### <地域の一員として>

- 地域の各種団体が、地域のために様々な活動を実施していることを認識する。
- 「ちょこっとボランティア」など、“地域のためになること”は自ら進んで行動する。
- 地域活動（河川清掃、お祭り等）に積極的に参加する。

##### <地域の各種団体として>

- 地域行事を行う際は、できるだけ多くの大人と子どもが企画・準備等に参加できるようにする。
- 地域行事の企画立案の際に、子どもを参画させる。
- 地域行事等の中で子どもにも役割を与え、活躍の場を設ける。
- 準備、本番、後片付けを子どもと一緒にいき、行事終了後はその頑張りをほめる。

#### 有害な情報・環境の改善を図る

★子どもの目や耳に入れたくない情報や子どもに悪影響を及ぼすおそれのある環境が身近に存在しています。

例えば…

##### <地域の一員として>

- 子どもにとって身近な場所に有害な情報・環境があることを認識する。
- 買い物や散歩等で外出する際、有害な情報・環境に注意を払う。
- 有害な情報・環境を発見した場合、関係機関（警察等）に連絡する。

##### <地域の各種団体として>

- 各種団体が連携しながら、有害な情報・環境の把握に努める。
- 有害な情報・環境を発見した場合、関係機関（警察等）に連絡し、その情報を地域で共有する。



#### 『市民性をはぐくむ教育』に関するお問い合わせ、情報提供は

〒840-0811 佐賀市大財3丁目11-21  
 佐賀市教育委員会 社会教育部 社会教育課 社会教育係  
 「市民性をはぐくむ教育の推進」担当  
 TEL(0952)40-7366・FAX(0952)26-7378  
 e-mail: shakaikyoiku@city.saga.lg.jp



まで、どうぞ!

# 市民性をはぐくむ教育

## 「概要版」



地域の中での

### 出番

自分の考え、力でやり遂げる

### 役割

やり遂げたことに対しての

### 承認



## 佐賀市教育委員会

# 「市民性をはぐくむ教育」

これは、「子どもへのまなざし運動」での地域の取組みの核となります。

その推進には、

どんな大人になって欲しいかを共通理解することと、  
目標達成に向けてどのような場を設定するかが重要な鍵になります。

## 「市民性をはぐくむ教育」とは

子どもを単なる保護の対象としてみるのではなく、市民の一人として捉え、将来の“さが”を担っていくために必要な力を身につけさせていく学校と地域の協働の営みをいいます。

※「市民性」⇒地域や社会を良くしていこうと主体的に行動する資質や能力、行動力

佐賀市教育委員会では「市民性をはぐくまれた人」として次のような人をイメージしています。

- ① 身近な集団に進んで参加し、自分の役割と責任を自覚した言動をとることができる人
- ② 他の人々に対し感謝と思いやりの心をもった言動をとることができる人
- ③ 困っている人に出会ったとき、自分に何ができるか考え実行できる人
- ④ ボランティア活動や地域活動に協力し、地域の一員としての役割を果たすことができる人
- ⑤ 自治意識を持って、よりよい社会の実現に努力することができる人
- ⑥ 地域社会の習慣や伝統文化の良さを知り、守り育てる行動をとることができる人



## 具体的には、地域は何をすれば

- |                                   |          |
|-----------------------------------|----------|
| 1. 行事等の目標を明確にもち、子どもにも知らせる         | (目標の共有化) |
| 2. 子どもたちが参加できる行事等を増やす             | (出番)     |
| 3. 子どもたちの主体的な活動が保障される場面を設定する      | (役割)     |
| 4. 子どもたちに達成感を持たせるため、そのがんばりを認め、誉める | (承認)     |

※学校では、教科等の授業と地域で実施する社会体験活動を組み合わせた学習を展開しています。

## 活動のポイント

- ① 異世代交流のできる活動の場をできるだけ多く地域の中に取り入れ子どもたちを参加させる。

### 具体的には

地域のお祭り、体育大会等に子どもたちを参加させ、大人と一緒に活動させる中で、役割を与え、子どもたちが役割を果たしたことに承認する。

### ここがポイントです

達成感を得るためには……

一人ひとりが活動の中で「他者から求められる経験」と「他者に役立つ経験」を得るようにすることが大切です。



町民体育大会へ参加する中学生



冬まつりの準備をする小・中・高校生



- ② 地域主催の様々な行事を学校が支援する。

### 具体的には

地域の行事に参加しやすいよう学校の協力を得たり、子どもたちが地域で頑張ったことに対して学校でも承認するなど学校が地域と共に子どもたちを育む。

### ここがポイントです

学校との連携を強化するには……

夏まつり、冬まつり、文化祭、清掃ボランティア、施設への慰問、その他様々な地域行事に参加しやすいように、また、効果のあるものにするためには、学校への趣旨説明、子どもたちへの声かけ要請、子どもたちの活動の報告などが大切です。



清掃ボランティアを企画実行する中学校生徒会



地域の清掃活動で精を出す中学生



地域のまつりで販売テントを任される中学生



町民体育大会でスタッフを務める中学生

### 子どもたちの感想

・ボランティアに参加することで地域の方々との交流や信頼関係が深まったので、これからも参加していきたい。  
・汗だらけの中学生のお兄さん、お姉さんを見て私も見習って一生懸命しようと思いました。

### 大人の感想

・泥まみれのヨシや水草の塊を汚れるのもいとわずに一輪車で何回も往復してくれました。ありがとうございます。成長しましたね。  
・黙々と頑張る姿を見て、爽やかさとエネルギーに満ちたたくましさを感じ、感謝の気持ちが溢れました。  
・地域から「本当の豊かさ」「生きることの意味」を学ぶ毎日です。(先生より)

